

心の扉

愛全園では『利用者の方に安心してその人らしく生活を送っていただけるように』との思いから、それぞれの部署の職員が集まり事例検討会を実施しています。

担当職員が中心となり、過去・現在の事実に基づいた情報から、今後のかわりや、サービスの方について話し合います。この検討会を通して、必ず気づきがあり、職員のかわりが変化していくました。

今回は、これまでの取り組みの中の一例をご紹介します。

Yさん(82歳)は、入所当時、ご夫婦で入所され穏やかに過ごされていました。しかし、奥様が亡くなられたころからでどうか…。次第に怒りっぽく、感情が不安定になることが増えていきました。

特に、食事の配膳やお手拭きの準備、ロビーに設置してある予定表の記入など少しでも時間に遅れると、大声でひどく立腹されました。

なぜ、そこまで”日課や時間へのこだわり”があるのかわからぬまま、表情をうかがい気分を損ねないように接する日々が続きました。

これまでのYさん

そんなとき、職員の中からYさんの検討会を開催しようという声があがりました。

検討会の中で見えて

きたのは、たくさんのヒント、そして誰も知らないYさんの姿でした。

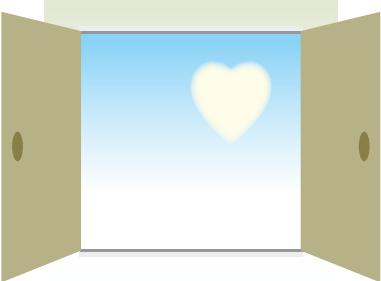
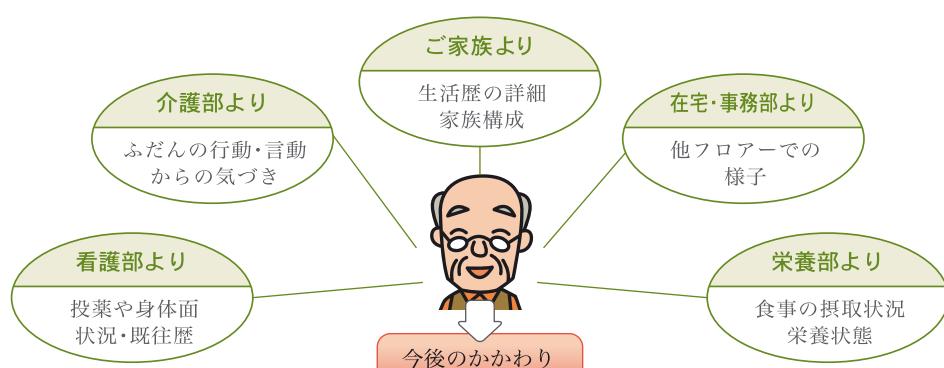
Yさんは、小さい頃にお兄さんを亡くし、以降4人兄弟の長男として一手に責任を背負つてこちらの仕事に対し、ひもじい思いをさせたくないという思

いが強かつたようです。

仕事に対してもプロ意識が強く、社長と意見が対立し喧嘩することや、休憩もせず仕事をすることもあつたそうです。定年後、より怒りっぽくなってきたということを

人の役に立つことが何よりも喜び・生きがいであり、仕事やご家族への责任感から”日課や時間へのこだわり”を強くもつておられたのだと確信することができました。

Yさんの気持ちや歴史などを、みんなで共有



見えてきた鍵

この確信と反省点、Yさんの歴史をふまえ、愛全園全体でご自身のこだわりである日課や時間に配慮しました。また、今まで以上に多いさつやねぎらいの言葉をかけ、意識してかかりを多くもつことで、少しづつですがYさんの心は安定していました。



事例検討会の様子

お一人おひとりの あしあと



お手伝いをしてくださるYさん

検討会の中で垣間見たYさんの新しい顔や、入所されてからの日々は、Yさんの人生のほんの一部に過ぎません。しかし、その一部を知ることで、Yさんの意識は変わり、少しずつYさんの心に届くかかわりができるようになつたと思います。

た人生を知ることが、どれだけ大切なことかと改めて思うのです。

施設は、利用者の方の生活の場です。入所前の生活が途切れることなく続けられるように、できるだけ早期に、その人をよく知り理解する必要があります。

その上で、生活に添えるよう心くばりをしていくことが、愛全園としての役割です。

これからも、愛全園では事例検討会を継続し『ただ一人』のその人にとって『そのらしく、幸せを感じる生活』をお手伝いできることに誇りをもち、日々工夫・実践していきます。

施設では集団生活となりやすくなりやすく、個々の人生やこだわりについて、じつくりと振り返るということが、忘れ去られてしまいがちです。

ですから、お一人おひとりが今まで歩いてこられた人生を知ることが、どれだけ大切なことかと改めて思うのです。

に大切かということを感じました。

Yさんの人生のほんの一部に過ぎません。しかし、その一部を知ることで、Yさんの意識は変わり、少しずつYさんの心に届くかかわりができるようになつたと思います。

重ね体力面は低下してきていますが、人としての生きる力は底知れないほど持つておられるのだといふ視点をもつことがいかに大切かということを感じました。

Yさんの新らしい顔や、入所されてからの日々は、Yさんの人生のほんの一部に過ぎません。しかし、その一部を知ることで、Yさんの意識は変わり、少しずつYさんの心に届くかかわりができるようになつたと思います。

重ね体力面は低下してきていますが、人としての生きる力は底知れないほど持つておられるのだといふ視点をもつことがいかに大切かということを感じました。

重ね体力面は低下してきていますが、人としての生きる力は底知れないほど持つておられるのだといふ視点をもつことがいかに大切かということを感じました。

みんなの広場

【還暦】(かんれき)60歳
還暦で生まれた年の干支に還つてくるため、生まれ直すととらえられて祝福します。

【卒寿】(そつじゅ)90歳

いちやんちゃんこと頭巾を贈り、長寿や無病息災を祈る風習となりました。また、赤は魔除けにも通じます。昔は人生50年と言われるほど短命だったので、還暦は大変めでたいことでした。

【古希】(こき)70歳
杜甫の詩句「人生七十古稀」なりに由来したものです。
【喜寿】(きじゅ)77歳
喜の草書が七十七に通じることから、77歳のお祝いは喜寿となりました。

【傘寿】(さんじゅ)80歳
傘の略字が八十と読めることから80歳のお祝いは傘寿となりました。

現在、足羽福祉会には、百歳以上のご利用者様が6名おられます。



【米寿】(べいじゅ)88歳
米の字が八十八と書き、末広がりの八が重なり、おめでたい意味があります。

【卒寿】(そつじゅ)90歳
卒の略字が九十と書くことになります。